

2018年6月28日

## 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた 成田空港の取り組み

成田空港は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会時において、日本の表玄関として多くの選手・関係者・観客の皆様を安全、円滑に受け入れ、送り出すことが求められております。加えて、同大会を成田空港の更なる飛躍、発展のチャンスと捉え、将来を見据えた機能強化や更なる利便性・快適性向上に繋げるため、今般、当社としての基本方針及び具体的な取り組みをとりまとめました。

この基本方針に基づき、今後も引き続き、国や組織委員会、空港内事業者等、関係機関と連携しながら、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を万全の態勢で迎えるため、これら取り組みを着実に進めてまいります。

### 1. 基本方針

- ◆ 全てのお客様に安心して空港をご利用いただけるよう、関係機関と連携し、**安全・安定運用を徹底**します。
- ◆ 日本の表玄関として、大会期間中における**選手・関係者の安全確保やスムーズな移動の実現**に向けて、受入体制の整備を推進します。
- ◆ 全てのお客様がご利用しやすい空港を目指して、**ユニバーサルデザインの更なる充実**を図ります。
- ◆ 世界各国から日本を訪れるお客様を**おもてなしの心でお迎え**します。

### 2. 具体的な取り組み

#### ◆ 安全・安定運用の徹底

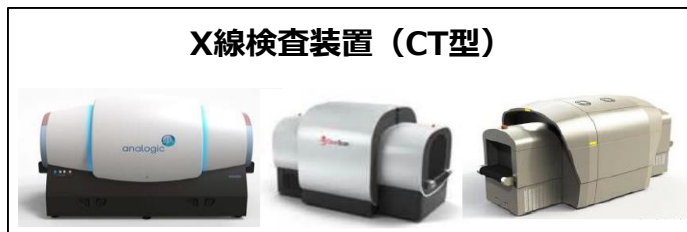
##### 保安検査体制の強化

- ✓ ボディスキャナー（AIT）の設置  
【2018年3月までに22台導入済】
- ✓ 爆発物の自動検知機能を有し、3D映像により全方向からモニタ確認が可能な**CT（Computed Tomography；コンピュータ断層撮影）型のX線検査装置を導入**  
【2019年度末までに7台導入】

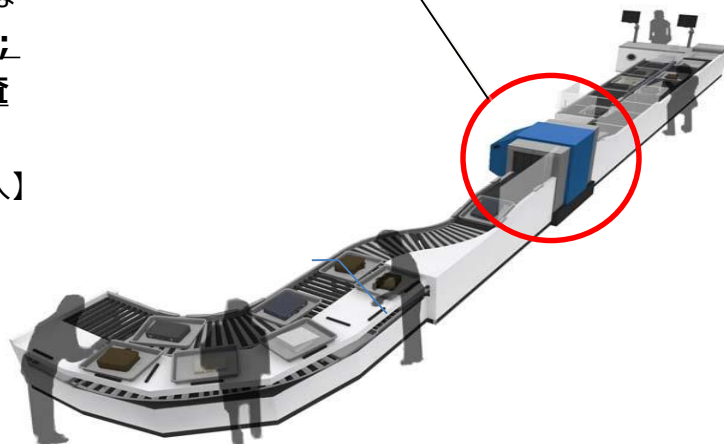
##### その他の取り組み

- ✓ 警備体制の強化
- ✓ スマートセキュリティレーンの導入
- ✓ サイバーセキュリティの強化

#### X線検査装置（CT型）



※当社実証実験資料より



## ◆選手・関係者の安全確保やスムーズな移動の実現

### 臨時ターミナルの整備／選手村における空港外チェックインへの対応

- ✓ 閉会式翌日に一斉に帰国する選手・関係者の安全確保や、既存ターミナルの混雑緩和等を図るため、既存施設の改修により、**各国選手団用の臨時専用ターミナルを整備** 【2019年度末までに整備】
- ✓ 選手村における空港外チェックインで事前に預かった手荷物の保安検査・仕分け・一時保管を行う**臨時手荷物集積所を整備地区（暫定貨物上屋）に整備** 【2019年度末までに整備】

臨時ターミナルイメージ



【臨時ターミナル（第2ターミナル航空会社用）】  
第2ターミナル南側暫定国内線施設+内際乗継施設（既設）  
規模：1,750㎡  
施設：チェックインカウンター、保安検査、出国審査



第2ターミナル

【臨時ターミナル（第1ターミナル航空会社用）】  
JALオペレーションセンター1階+第2ターミナルバスゲート（既設）  
規模：2,200㎡  
施設：チェックインカウンター、保安検査、出国審査

第1ターミナル

【臨時手荷物集積所】  
暫定貨物上屋（既設）  
規模：約9,000㎡（約1,300㎡/棟×7棟）  
施設：保安検査

### 案内誘導体制の構築

- ✓ 関係機関と連携しつつ、**ボランティア等を活用した空港内における案内・誘導体制を構築**

【2018年度末までに体制決定】

<ボランティア概要>

	活動内容	募集人数※1
大会ボランティア（組織委員会）	選手・大会関係者の出入国時の案内	8万人
都市ボランティア（千葉県※2）	観客及び観光客への競技概要・交通・観光等の案内・誘導	3,000人

※1 空港内のボランティア配置人数や、既存ボランティアとの連携については、関係機関と協議中

※2 成田空港内に配置される都市ボランティアは、千葉県が実施主体

### その他の取り組み

- ✓ 選手・関係者の動線の設定、手荷物の取り扱い、バス等の車両待機スペースの設定
- ✓ 道路の混雑緩和、ビジネスジェットへの対応

## ◆ユニバーサルデザインの更なる充実

### エレベーターの増設・機能増強

- ✓ 「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」への適合を図るため、ターミナル内主要動線におけるエレベーターの増設・機能増強を実施

【2018年度末までに4カ所整備】

- ✓ お客様ご自身の車いすで移動できる範囲が可能な限り広がるよう、搭乗ゲート付近に車いす等運搬用エレベーターを設置

【オリパラ以降も含めて25カ所※整備】

※オリパラまでの整備箇所数は設計にて精査中

＜車いす等運搬用エレベーターのイメージ＞



### その他の取り組み

- ✓ お客様用トイレ全面リニューアル

- ・ ターミナル内お客様用トイレの全面リニューアルに合わせて、音声案内・フラッシュライト・L型手すりの設置、多機能トイレの機能分散、異性介助等へのニーズへの対応など、お客様用トイレのユニバーサルデザイン化を推進

【第2ターミナル：2018年9月末まで、第1,第3ターミナル：2019年度末までに整備※】

※完成次第、順次供用



- ✓ ターミナルのバリューアップ計画

- ・ 第1・第2ターミナルの大規模リニューアル（ターミナルのバリューアップ計画）に合わせて、大型の案内サインの導入など、すべてのお客様にわかりやすいように改修を行うとともに、照明器具のLED化により、空間全体での明るさ感確保や視認性向上を実施

【2019年度末までに整備】

- ✓ その他、成田空港ユニバーサルデザイン基本計画に基づく取り組みの着実な実施

- ・ 案内カウンターの改修や、障害に対する理解を深め、適切な接遇を行うためのボランティアを含めた研修の実施など、成田空港ユニバーサルデザイン基本計画に基づく取り組みを実施

【ハード面の取り組み：2019年度末までに実施、ソフト面の取り組み：順次実施】

## ◆おもてなしの心でお迎え

### 空間演出

- ✓ ターミナルビルの到着コンコースにおいて、訪日外国人をはじめとしたお客様に対して、プロジェクター、液晶ディスプレイ等を活用し、**“訪日歓迎ムード”や“日本らしさ”を表現する空間演出**を実施  
【2018年度末までに第1ターミナル4カ所、第2ターミナル5カ所に整備】

<イメージ>



### その他の取り組み

- ✓ 機運醸成イベント、館内装飾の実施
  - ・ 7月24日（火）に、千葉県主催による「オリンピック2年前イベント」を成田空港内ハンガー等にて開催
- ✓ 「beyond2020プログラム」の認証を通じた日本文化の魅力発信



## 3. オリパラに向けた空港内関係機関等との連携

- ✓ 組織委員会※1や空港関係機関※2と緊密に連携し、大会時におけるスムーズな空港運営を実現。

※1 公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会  
※2 官公庁、航空会社、交通事業者など

